

Milestone Systems

XProtect® Access 2020 R2

システム管理者 マニュアル



目次

Copyright、商標、および免責条項	3
概要	4
XProtect Access (説明付き)	4
ライセンス	5
XProtect Access ライセンス	5
設定	6
統合された入退室管理システムを設定する	6
入退室管理システム統合ウィザード	6
入退室管理システム統合の作成	7
入退室管理システムへの接続	7
関連のあるカメラ	7
サマリー	7
入退室管理プロパティ	8
一般設定 タブ(入退室管理)	8
ドアと関連付けられたカメラタブ(入退室管理)	9
[入退室管理 イベント]タブ(入退室管理)	10
アクセスリクエスト通知タブ(入退室管理)	11
カードホルダータブ(入退室管理)	12
設定 アクセスリクエスト	13

Copyright、商標、および免責条項

Copyright © 2020 Milestone Systems A/S

商標

XProtect はMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

概要

XProtect Access (説明付き)



XProtectAccessを使用する場合、XProtectシステムでこの機能の使用を許可する基本ライセンスを購入しておく必要があります。また、制御する各ドア用のアクセスコントロールドアライセンスも必要です。



XProtect Accessに対するベンダー固有のプラグインが存在するベンダーからの入退室管理システムで、XProtect Accessを使用することができます。

アクセスコントロール統合機能では、XProtectとお客様のアクセスコントロールシステムを簡単に統合できる新機能が搭載されています。特長：

- XProtect Smart Client内の複数の入退室管理システムを操作できる共通のユーザーインターフェース。
- 入退室管理システムをより素早く強力に統合
- オペレータ向けに追加された機能(以下を参照)。

XProtect Smart Clientでは、オペレータは以下の機能を使用できます。

- アクセスポイントでのイベントのライブ監視。
- オペレータによるアクセスリクエストの受理
- マップの統合
- 入退室管理イベントのアラーム定義
- アクセスポイントでのイベントの調査。
- ドアの状態の一元化された概要とコントロール。
- カードホルダー情報と管理。

監査ログは、XProtect Smart Clientからの入退室管理システムで各ユーザーが実行するコマンドを記録します。

統合を開始するには、XProtect Access基本ライセンス以外にも、ベンダー特有の統合プラグインがイベントサーバーにインストールされている必要があります。

ライセンス

XProtect Access ライセンス

XProtect Access は、以下の入退室管理関連ライセンスを必要とします。

- XProtect Accessの基本ライセンスは、無制限の台数のアクセスサーバーをカバーします。
- XProtectAccessで統合および制御する対象の各ドアごとに1つのアクセスコントロールドアライセンス。XProtect Access基本ライセンスには、2つのアクセスコントロールドアライセンスが含まれています。すべてのドアライセンスは、XProtectAccess製品をインストールすると自動的にインストールされます。ただし、インストールされたドアライセンスはデフォルトでは無効であり、使用したいドアを有効化する必要があります。ライセンス対象分のドアだけを有効化できます。

例：5つのアクセスコントロールドアライセンスがあり、10個のドアを追加しました。ドアを5つ追加すると、それ以上は選択できなくなります。別のドアを追加する前に、一部のドアを削除する必要があります。

アクセスコントロールドアライセンスの現在のステータスを確認するには、入退室管理 ノードを開きます。

追加のXProtect Access基本ライセンスまたはドアライセンスを購入するには、ベンダーにお問い合わせください。

設定

統合された入退室管理システムを設定する

要件

- 必要なXProtect Accessライセンスを購入済み
 - イベントサーバーにご利用の入退室管理システム固有の統合プラグインがインストール済み
1. XProtectシステムに、統合されたアクセスコントロールシステムを追加します。入退室管理システム統合 ウィザード ページ6を参照してください。ウィザードの指示に従って、基本的な手順を実行してください。
 2. アクセスコントロールシステム統合の追加のプロパティを指定します。特に、アクセスコントロールイベントでは、XProtectによって認識されるイベントカテゴリを使用するアクセスコントロールシステムからイベントをマップする必要があります。入退室管理プロパティページ8を参照してください。
 3. XProtectSmartClientのアクセスコントロール機能を使用するには、アクセス許可がある役割を作成する必要があります。[入退室管理]タブ(XProtectManagementClientシステム管理者 マニュアルの「[入退室管理]タブ(役割)」を参照)。
 4. また、この役割をSmart Clientのプロファイルと関連付ける必要もあります。『XProtect Management Client管理者 マニュアル』の「Smart Client プロファイルのプロパティを参照してください
 5. システムには、アクセスが拒否された場合に、XProtect Smart Client画面にアクセスリクエスト通知を表示するデフォルトルールが提供されています。アクセスリクエスト通知は追加および編集ができます。アクセスリクエスト通知(プロパティ)を参照(アクセスリクエスト通知タブ(入退室管理)ページ11)を参照してください。
 6. 入退室管理システムからのアクションおよびイベントを基に、追加のルールを作成できます。『XProtect Management Clientシステム管理者 マニュアル』の「アクションと停止アクション(説明付き)」と「イベント概要」を参照してください。
 7. 必要な場合は、オプション>入退室管理設定の一般入退室管理設定を変更します。[入退室管理設定]タブを参照してください(『XProtect Management Clientシステム管理者 マニュアル』の「統合された入退室管理システムを設定する」を参照)。

入退室管理システム統合ウィザード

入退室管理システム統合ウィザードでは、入退室管理システムの最初のインテグレーションを段階的に設定します。ウィザードを使用して、基本的な設定作業を行うことができます。後日に、さらに詳細な設定を行うことができます。

入退室管理統合ウィザードを開始する前に、イベントサーバーに統合プラグインがインストールされていることを確認します。

フィールドへの入力値とそのデフォルト値は、統合プラグインから継承されます。このため、ウィザードの外観は、統合される入退室管理システムによって異なる場合があります。

ウィザードを開始するには、ノードツリーで入退室管理を選択し、右クリックして、新規作成をクリックします。

入退室管理システム統合の作成

追加したい入退室管理システムの名前を入力し、その接続の詳細を指定します。どのパラメータを指定する必要があるかはシステムのタイプに応じて異なりますが、通常は入退室管理システムサーバーのネットワークアドレスと、同システムの管理者ユーザー名とパスワードが対象となります。

設定を取得するために入退室管理システムにログインする際に、ビデオ管理システムは、指定したユーザー名とパスワードを使用します。

また、統合プラグインでは、ウィザードでリストされないセカンダリパラメータを定義することもあります。これらは統合を設定した後一括設定で変更することができます。パラメータのデフォルト値は、プラグインまたはXProtectシステムによって入力されます。

入退室管理システムへの接続

プラグインが正常に統合されると、取得された入退室管理システムの設定の概要が表示されます。ウィザードの次のステップに進む前に、このリストにすべての項目が統合されていることを確認します。

関連のあるカメラ

入退室管理システムのアクセスポイントをXProtectシステムのカメラとマッピングし、イベントに対してドアからの関連ビデオを表示します。

また、複数のカメラを単一のアクセスポイントにマッピングすることもできます。これによりXProtect Smart Clientユーザーは、たとえばイベント調査時などに、すべてのカメラからのビデオを表示できるようになります。

さらに、XProtect Smart Clientユーザーは、アクセスモニターの表示項目を設定するときに、いずれかのカメラを追加することもできます。

ライセンスを付与されているドアは、デフォルトで有効になっています。ドアを無効とし、アクセスコントロールドアライセンスを解除するにはチェックボックスをオフにしてください。

サマリー

デフォルト設定を統合プラグインから継承した入退室管理システム統合が、XProtectで正常に作成されました。新しい入退室管理システムを表示および使用するには、クライアントユーザーはXProtect Smart Clientにログインする必要があります。

必要に応じて、この構成を調整できます。

入退室管理プロパティ

一般設定タブ(入退室管理)

名前	説明
有効	システムはデフォルトで有効であり、これは十分な権限を有するユーザーに対してXProtect Smart Clientで表示されること、XProtectシステムが入退室管理イベントを受信することを意味しています。 メンテナンス中などにシステムを無効にして、不要なアラームが作成されるのを避けることができます。
名前	入退室管理インテグレーションの名前が、そのままManagement Applicationやクライアントで表示されません。既存の名前を、新しい名前の上書きすることができます。
説明	入退室管理統合の説明を提供します。これはオプションです。
統合プラグイン	最初のインテグレーションで選択した入退室管理システムのタイプを示します。
最後の設定更新	入退室管理システムから最後にインポートした日付および時刻を示します。
設定の更新	ドアの追加や削除など、XProtectの入退室管理システムで行った変更を反映させる必要がある場合には、このボタンをクリックします。 入退室管理システムからの設定変更の概要が表示されます。新しい設定を適用する前に、リストをレビューして、入退室管理システムに正しく反映されていることを確認します。
オペレーターのログインが必要	もし入退室管理システムが異なるユーザーの権利をサポートする際には、クライアントユーザーの追加ログインを可能にしてください。このオプションを可能にする際には、XProtect Mobile クライアントは入退室管理システムは使用できません。 このオプションが表示されるのは、統合プラグインが異なるユーザー権限をサポートしている場合だけです。

以下のフィールドの名前や内容は、統合プラグインからインポートされます。以下は通常のレイアウト例です:

名前	説明
アドレス	統合された入退室管理システムを提供するサーバーのアドレスを入力します。
ポート	入退室管理システムが接続するサーバーのポート番号を指定します。
ユーザー名	入退室管理システムで定義されている、XProtectの一体型システムの管理者となるユーザーの名前を入力します。
パスワード	ユーザーのパスワードを指定します。


ドアと関連付けられたカメラタブ(入退室管理)

このタブでは、ドアのアクセスポイントとカメラ、マイク、スピーカーの間のマッピングを提供します。カメラは統合ウィザードの一部として関連付けますが、いつでも設定を変更することができます。カメラに関連付けられたマイクやスピーカーを通じて、マイクやスピーカーへのマッピングが内在しています。

名前	説明
ドア	<p>入退室管理システムで定義されている、使用可能なドアのアクセスポイントを、ドア別にグループ化してリストします。</p> <p>関連するドアへの移動を簡単にするには、入退室管理システムで上部にあるドロップダウンリストボックスを使用し、ドアをフィルタリングできます。</p> <p>有効: ライセンスを付与されているドアは、デフォルトで有効になっています。ドアを無効にして、ライセンスを解放することができます。</p> <p>ライセンス: ドアのライセンスがあるか、ドアが有効期限切れであるかを示します。ドアが無効であれば、このフィールドは空白です。</p> <p>削除: 削除をクリックすると、アクセスポイントからカメラを削除します。すべてのカメラを削除すると、関連するカメラのチェックボックスが自動的にクリアされます。</p>
カメラ	<p>XProtectシステムで設定されているカメラをリストします。</p> <p>リストからカメラを選択し、関連するアクセスポイントでドラッグおよびドロップして、カメラとアクセスポイントを関連付けます。</p>

[入退室管理 イベント] タブ (入退室管理)

イベントをグループ化できるイベントカテゴリです。イベントカテゴリの構成は、XProtectシステムの入退室管理の動作に影響を与えます。たとえば、複数のタイプのイベントでの単一のアラームのトリガーを定義することができます。

名前	説明
入退室管理イベント	<p>入退室管理システムからインポートした入退室管理イベントをリストします。統合プラグインが、デフォルトでのイベントの有効化や無効化を制御します。イベントは、統合後にいつでも有効または無効にできます。</p> <p>イベントが有効化されると、XProtectのイベントデータベースに保存され、XProtect Smart Clientでのフィルタリングなどに使用可能となります。</p>
ソースタイプ	<p>入退室管理イベントを起動できる入退室管理ユニットを表示します。</p>
イベントカテゴリ	<p>入退室管理イベントに、「なし」、「1つ」、「複数」のイベントカテゴリのいずれかを割り当てます。システムは、統合中に関連するイベントカテゴリを自動的にイベントにマッピングします。これによって、XProtectシステムのデフォルト設定が有効になります。マッピングは、いつでも変更できます。</p> <p>統合イベントカテゴリは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセスが拒否されました • アクセスを許可済み • アクセスリクエスト • アラーム • エラー • 警告 <p>また、統合プラグインによって定義されるイベントやイベントカテゴリも表示されますが、独自のイベントカテゴリを定義することも可能です。ユーザー定義カテゴリを参照してください。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #f9e79f; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p>XProtect Corporateでイベントカテゴリを変更する場合は、既存の入退室管理のルールが正しく機能していることを確認してください。</p> </div>
ユーザー定義	<p>ユーザー定義のイベントカテゴリを作成、変更、削除することができます。</p> <p>統合カテゴリが要件に適合しない場合は、イベントカテゴリを作成することができます。たとえば、入退室管理の</p>

名前	説明
カテゴリ	<p>アクションをトリガーするイベントの定義と組み合わせることができます。</p> <p>カテゴリは、XProtectシステムに追加されたすべての統合システムにグローバルに適用されます。これにより、たとえばアラーム定義など、システムをまたいだ操作の設定が可能になります。</p> <p>ユーザー定義のイベントカテゴリを削除すると、統合によって警告が使用されている場合には警告を受信しません。それでも削除すると、たとえば入退室管理のアクションなど、このカテゴリで行ったすべての設定が動作しなくなります。</p>

アクセス リクエスト通知 タブ(入退室管理)

指定したイベントが発生したときにXProtect Smart Clientの画面に表示されるアクセスリクエスト通知を指定できます。

名前	説明
名前	アクセスリクエスト通知の名前を入力します。
アクセス リクエスト通知を追加	<p>クリックして、アクセスリクエスト通知を追加、定義します。</p> <p>通知を削除するには、右側でXをクリックします。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #e6f2ff; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p>XProtect Smart ClientのユーザーがMilestone Federated Architecture階層の親サイトへログインすると、子サイトからのアクセスリクエスト通知がXProtect Smart Clientにも表示されます。</p> </div>
アクセス リクエスト通知の詳細	<p>所定のイベントが発生した場合、どのカメラ、マイク、スピーカーをアクセスリクエスト通知に表示するかを指定します。また、通知ポップアップが表示されるときにユーザーに警告する音声を指定します。</p>
コマンドの追加	<p>XProtect Smart Clientのアクセスリクエスト通知ダイアログで、どのコマンドをボタンとして使用可能にするかを選択します。</p> <p>関連するアクセスリクエストコマンド:</p> <ul style="list-style-type: none"> ソースユニットで使用できるアクセスリクエスト操作に関連するすべてのコマンドを有効にします。たとえば、【ドアを開ける】などです。 <p>すべての関連コマンド:</p>

名前	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ソースユニットで、すべてのコマンドを有効にします。 入退室管理 コマンド: <ul style="list-style-type: none"> 選択した入退室管理 コマンドを有効にします。 システム コマンド: <ul style="list-style-type: none"> XProtectシステムで事前に定義されているコマンドを有効にします。 コマンドを削除するには、右側で X をクリックします。

カードホルダータブ(入退室管理)

カードホルダータブを使用して、入退室管理システムにおけるカードホルダーの情報をレビューします。

名前	説明
カードホルダーの検索	カードホルダーの名前の文字を入力すると、存在する場合はリストに表示されます。
名前	入退室管理システムから取得したカードホルダーの名前をリストします。
タイプ	以下のようにカードホルダーのタイプをリストします。 <ul style="list-style-type: none"> 従業員 警備員 来客

使用している入退室管理システムが、XProtectシステムでの写真の追加/削除をサポートしている場合、カードホルダーに写真を追加することができます。これは、入退室管理システムにカードホルダーの写真が含まれていない場合に便利です。

名前	説明
画像の選択	カードホルダーの画像ファイルへのパスを指定します。入退室管理システムが画像を管理している場合は、このボタンは表示されません。

名前	説明
	<p>使用できるファイル形式は、.bmp、.png、.jpgです。</p> <p>最大に表示されるように、画像はサイズ変更されます。</p> <p>Milestone では、正方形の画像を使用することを推奨しています。</p>
画像の削除	<p>クリックすると、画像を削除します。入退室管理システムに画像があった場合、削除後はこの画像が表示されます。</p>

設定 アクセスリクエスト

いくつかのタイプの入退室管理 イベントがあります。例えばアクセス拒否、そしてアクセス許可といったものです。アクセスリクエスト通知を有効化するには、イベントの種類をイベントカテゴリーアクセスリクエストと関連付けておく必要があります。デフォルト設定では、アクセス拒否は、アクセスリクエストと関連付けられています。アクセスリクエスト通知は、誰かのアクセスが拒否された場合にのみ送られます。この設定を変更するには、本トピックにおける手順に従ってください。

要件: 現行のクライアントユーザーの役割において、通知を有効にします。そのためには、役割において、[入退室管理 イベント]タブをクリックし、[入退室管理 イベント]を選択、そして [通知を受け取る]チェックボックスを選択してください。

手順:

1. [サイトナビゲーション]ペインで、[入退室管理]を選択します。
2. [入退室管理 イベント]タブの [入退室管理 イベント]カラムで、編集したいイベントタイプを見つけます。
3. イベントタイプにおけるアクセスリクエストを無効にするには、[イベントカテゴリー]カラムで をクリックし、アクセスリクエストチェックボックスを外します。
4. イベントタイプにおけるアクセスリクエストを有効にするには、[イベントカテゴリー]カラムで をクリックし、アクセスリクエストチェックボックスを選択します。
5. 変更を保存します。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systems はオープンプラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。Milestone Systems は、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestoneのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成します。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

